

(留意事項)

国有林材の安定供給システムに係る企画提案書

平成 年 月 日

北海道森林管理局長 あて

(代表者) 住 所
商号又は名称
代表者氏名 印

※ 共同申請の場合は、代表者が他の申請者にかかる企画提案をとりまとめの上、一つの企画提案書として作成してください。
(申請者ごとに企画提案書を作成することのないよう留意してください。)

国有林材の安定供給システム実施要領5条第2号の規定により、買受を希望する林産物の加工・流通等に係る取組についての企画提案書を下記のとおり提出します。

本企画提案書の提出にあたっては、虚偽の事実がないこと、協定の締結後は本企画提案書の内容に基づく取組を行うことを確約します。

また、企画提案の審査結果について異議申し立てをしないこと、本企画提案書の内容を公表することについて了承します。

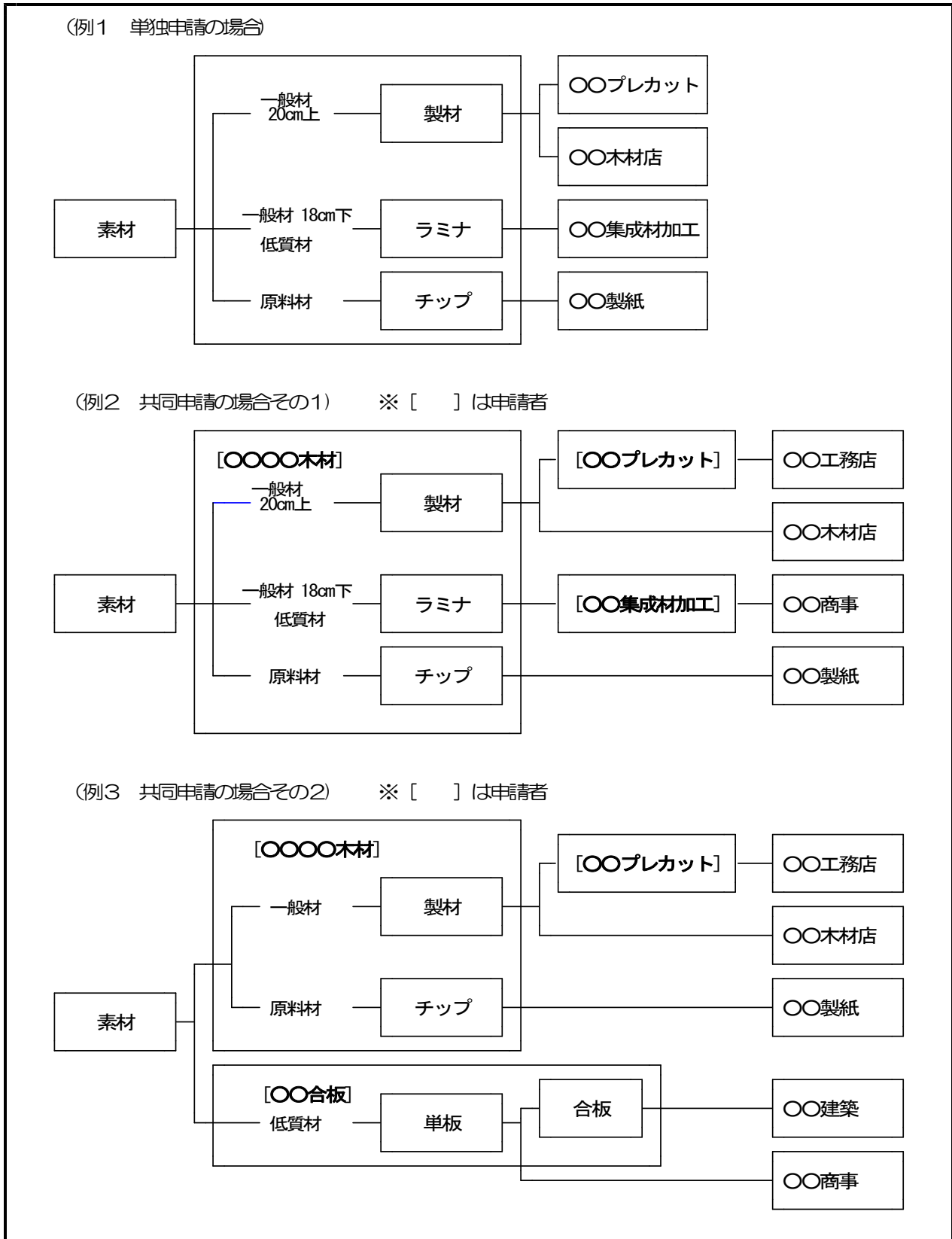
なお、本企画提案書の内容に関する質問等への対応は以下の作成担当者が行います。

記

- 1 システム販売で購入する材の利用計画（模式図）
- 2 希望長級
- 3 企画提案する取組内容
- 4 共同で申請する理由又は製材工場等と販売協定を締結した理由
- 5 買受を希望する林産物の価格検討表（製品）

作成担当者	会社名			
	役職名		氏名	
	電話		FAX	

1 システム販売で購入する材の利用計画（模式図）



注) 1 共同申請の場合は、買い受けた原木がどのように申請者の間で分配され加工・流通するのか、買い受けた原木の流通経路がわかるように記載する。なお、申請書の事業計画と整合性がとれているか確認してください。

2 枠内に記載できない場合は、別紙として作成する。

2 希望長級（長級6m以下の希望数量）

※ システム販売で買い受けを希望する原木について、希望する長級別の数量を申請者別に分かるように記載してください。

物件番号	樹材種	材長 (m)	希望数量 (m ³)	用途	納入先

- 注) 1 希望する採材（長級）を把握する目的で記入していただくものであり、必ずしも希望する長級の採材を約束するものではなくまた、各長級の販売量を確約するものでもない。
 2 買い受けた原木がどのように申請者間で分配されるのかが分かるように記載してください。
 3 欄が不足する場合は、適宜欄を増やしたり、または別紙として作成する。

3 企画提案する取組内容

注) 提案内容は、最近の情勢等を踏まえた具体的な内容を、可能な限り数値指標を用いて取り組みの目玉やトピックス等を分かり易く記載して下さい。

項目	取組内容
① 原木や製品の生産・流通にかかるコストの縮減や効率化を図るもの	<p>◎ 製品の生産にかかるコストの縮減 工場設備の更新などによる加工コスト縮減にかかる取り組みを数値目標等も含めて、具体的に記載してください。</p> <p>◎ 原木及び製品の流通にかかるコストの縮減 原木及び製品の輸送や流通にかかるコスト縮減の取り組みを具体的に記載してください。</p>
② 原木や製品の付加価値の向上や森林資源の有効活用を図るもの（新規需要開発を含む）	<p>◎ 原木や製品の付加価値の向上を図るもの 原木及び製品の付加価値向上にかかる取り組みを具体的に記載してください。</p> <p>◎ 森林資源の有効活用を図るもの 低質材、原料材、未利用材の有効活用の取り組みについて具体的に記載してください。</p> <p>◎ 国産材の新規需要開拓・シェア拡大を図るもの 新規需要開発、国産材シェアの拡大等の取り組み等について具体的に記載してください。 ※ T P P による国際環境下での体質強化</p>
③ 地域の振興等への貢献を図るもの	<p>◎ 地域の林業・木材産業への貢献を図るもの 地域への貢献のうち、森林整備などの林業・木材産業への貢献する取り組みを具体的に記載してください</p> <p>◎ 総合的な T P P 関連政策大綱への貢献を図るもの 製品を地域の農林水産業用として供給するなど、農林水産業への貢献を図る取り組みを具体的に記載してください。</p> <p>◎ その他地域への貢献を図るもの 林業・木材産業及び農業・水産業以外で地域への貢献を図る取り組みについて具体的に記載してください。</p>

- 注) 1 可能な限り定量的な数値指標とともに、具体的に記載する。
 2 枠の幅を適宜大きくするなどして記載する。
 3 必要に応じ、別途資料を添付する。

項 目	取 組 内 容
④山土場での選別・巻立を簡略化し、自動選別機等による計測を念頭に山土場で集材された原木を工場等へ直送するもの 【Aタイプ】	自動選別機等の活用に当たって、山土場からの輸送手法、工場土場での選別、仕訳手法、スケジュール（土場から工場へ輸送する目安量）等について具体的に記載してください。

- 注) 1 可能な限り定量的な数値指標とともに、具体的に記載する。
- 2 山土場から直送して搬入する場所（原木の計測等を行う場所）、及び原木の計測・集計の方法。なお、山土場から直送して搬入する場所は1カ所とする。
- 3 トラックの積荷状況確認する写真の撮影方法（トラック運転手に依頼するなど）。
- 4 トラックの手配・配車計画・スケジュール（土場から工場へ輸送する目安量）についても必ず記載する。
- 5 必要に応じ、別途資料を添付する。

4 共同で申請する理由又は製材工場等と販売協定を締結した理由

共同で申請するに至った理由又は販売協定締結に至った理由、申請する者（販売協定した需要者を含む）の間でどのように連携するのかを簡潔に記載してください。

- 注) 1 共同申請の場合、又は、共同では申請しないものの原木市場等が製材工場等と販売協定を締結し申請する場合に記載する。
- 2 共同で申請するに至った理由又は販売協定締結に至った理由、申請する者（販売協定した需要者を含む）の間でどのように連携するのかを簡潔に記載してください。
- 3 製材工場等が単独で申請する場合は、記載する必要はない。

5. 買受を希望する林産物の価格検討表及び買受希望単価表 別添のとおり。

【様式5】

一般材・低質材用

【記載例】

買受を希望する林産物の価格検討表

※決算書類等に基づき前年度の実績を記載してください

製材工場等名

〇〇〇製材所

※共同申請の場合は、工場ごとに作成してください。

1. 製品価格

①製品総売上額(円)	1,580,000,000
②製品出荷材積(m3)	42,000
③平均製品単価(円/m3) 【③=①÷②】	37,619

※損益計算書の製材品の売上高と一致

【参考】主製品別の価格

	製品名	製品価格	単位	規格
直近の 製品売上価格 (平成 ● 年 3 月期)	トドマツKD間柱	37,000	円/m3	270mm × 150mm × 3650mm
	トドマツKD間柱	42,000	円/m3	270mm × 150mm × 4000mm
	トドマツKD下地材	48,000	円/m3	18・30・45mm × 150mm × 3650mm
	トドマツラミナ	35,000	円/m3	105mm × 150mm × 3650mm
	トドマツ栈木	24,000	円/m3	24mm × 48mm × 3650mm
【比較検討用】 製品売上価格 (前年同月期)	トドマツKD間柱	36,000	円/m3	270mm × 150mm × 3650mm
	トドマツKD間柱	40,000	円/m3	270mm × 150mm × 4000mm
	トドマツKD下地材	47,000	円/m3	18・30・45mm × 150mm × 3650mm
	トドマツラミナ	34,000	円/m3	105mm × 150mm × 3650mm
	トドマツ栈木	29,000	円/m3	24mm × 48mm × 3650mm

注) 製品価格は自社工場で製造・販売している主たる製品の工場発価格を記入すること。

2. 歩留まり

②製品出荷材積(m3)	42,000
④製品仕入れ材積(m3)	
⑤原木仕入れ材積(m3)	75,000
⑥歩留まり(%) 【⑥=(②-④)÷⑤】	56%

※半製品を仕入れて仕上げ加工をする場合

3. 製造コスト

区分		A: 諸経費等(円)	B: 製品数量(m3)	⑦製造単価 (円/m3) 【A/B】
		621,000,000	42,000	14,786
製造コスト	内訳	製材コスト	42,000	7,857
		乾燥コスト	36,000	4,444
		モルダーコスト	16,000	3,000
		運搬コスト	42,000	1,500
		その他コスト	20,000,000	

※ 製材とチップに分けて管理・集計していない場合は、おおよその割合を乗じて算出してください。

※ その他コストには、営業コスト、一緒案管理コスト、利益等を含む。

4. 原木受け入れ価格

⑧工場着価格(円/m3)	12,000	左記の工場着価格で想定する原木	
【参考 (③-⑦)×⑥】	12,787	樹種	トドマツ
		一般材、低質材別	一般材
		長級(m)	4.00
		径級(cm)	20

※工場着価格は、工場で主力となる樹材種、長級、径級の価格を記載。

【様式7】

原料材用

【記載例】
買受を希望する林産物の価格検討表

※決算書類等に基づき前年度の実績を記載してください。 製材工場等名 〇〇〇製材所

※共同申請の場合は、工場ごとに作成してください。

1. 製品価格

①製品総売上額(円)	172,500,000
②製品出荷材積(m3)	20,000
③平均製品単価(円/m3) 【③=①÷②】	8,625

※損益計算書の製材品の売上高と一致

【参考】主製品別の価格

	製品名	製品価格	単位	規格
直近の 製品売上価格 (平成 ● 年 3 月期)	針葉樹チップ	17,500	円/BDt	
	広葉樹チップ	18,700	円/BDt	
	針葉樹オガ粉	4,000	円/m3	
【比較検討用】 製品売上価格 (前年同月期)	針葉樹チップ	17,000	円/BDt	
	広葉樹チップ	18,500	円/BDt	
	針葉樹オガ粉	3,800	円/m3	

注) 製品価格は自社工場で製造・販売している主たる製品の工場発価格を記入すること。

2. 加工コスト

区分	A: 諸経費等(円)	B: 製品数量(m3)	④製造単価 (円/m3) 【A/B】
加工コスト	29,500,000	20,000	1,475

注) 製材工場と併設している場合等で、加工経費を製材等とチップ等に分けて管理・集計していない場合は、おおよその割合の乗じて算出してください。

3. 原木受け入れ価格

⑤工場着価格(円/m3)	6,500	左記の工場着価格で想定する原木	
【参考 ③-④】	7,150	樹種又はNL別	針葉樹

5. 山元価格の算出

※1 応募する物件ごとに、工場着価格から山土場から工場等への運搬コストを差し引いて山元価格を算出してください。工場着価格は、⑤の価格を転記してください。

物件番号	樹材種	長級 (m)	径級 (cm)	⑤工場着価格 (円/m3)	⑥運搬コスト (円/m3)	⑦山元価格 (円/m3) 【⑦=⑤-⑥】
〇〇-11	針葉樹原材料	/	/	6,500	2,000	4,500
〇〇-11	カラマツ原材料	/	/	6,500	2,000	4,500
〇〇-11	広葉樹原材料	/	/	8,300	2,000	6,300
		/	/			0
		/	/			0

※「⑥運搬コスト」は、山元から工場までの平均的な運賃(積込費含む)を、記載してください。

【様式8】

【記載例】

FITによるバイオマス発電用

買受を希望する林産物の価格検討表

申請者名

〇〇〇〇

物件番号

〇〇-17

「間伐材等由来のバイオマス」の買取

内 容	価格等	備考
① 年間発電予定総量	45,300,000 kwh	
a うち「間伐材等由来のバイオマス」を用いた発電予定量	41,500,000 kwh	
② 年間売電収入	1,419,200,000 円	
b うち「a」による売電収入(a×32円/kwh)	1,328,000,000 円	
③ 年間必要運転経費(燃料費を除く)	610,000,000 円	
c うち「a」に係る年間必要運転経費(燃料費を除く)	535,000,000 円	
④ 「間伐材等由来のバイオマス」調達費用(b-c)	793,000,000 円	
⑤ 年間購入予定燃料の数量(「間伐材等由来のバイオマス」、重量)	60,000 t	
⑥ 燃料の重量換算係数	1.3 m ³ /t	
⑦ 年間購入予定燃料の数量(⑤×⑥、材積)	78,000 m ³	
⑧ 燃料調達単価(④÷⑦)	10,167 円/m ³	
⑨ 燃料輸送費(発電所が加工場を併設している場合は省略)	1,000 円/m ³	
⑩ 原木加工費	1,450 円/m ³	
⑪ 原木輸送費	2,000 円/m ³	
⑫ 山元での買取価格(⑧-⑨-⑩-⑪)	5,717 円/m ³	

※ 燃料や燃料用原木の流通等への公的支援

円/m³

安定供給システム販売 買受希望単価表

申請者：○○○○製材所

物件番号	署等	区分	材長(m)	径級(cm)	提案単価(円/m3)	備考	
○-○○	○○署	カラマツ一般材	1.8~2.6	9~13			
				14~18			
				20~22			
				24~28			
				30~			
			2.7~4.0	9~13			
				14~18			
				20~22			
				24~28			
				30~			
		トドマツ一般材	1.8~2.6	9~13	14~18		
					20~22		
					24~28		
					30~		
					2.7~4.0	9~13	
			2.7~4.0	14~18			
				20~22			
				24~28			
				30~			
				エゾマツ一般材 アカエゾマツ一般材	1.8~2.6	9~13	14~18
		20~22					
		24~28					
		30~38					
		40~48					
		2.7~4.0	9~13				
			14~18				
			20~22				
			24~28				
40~48							
針葉樹低質材	込	込					
カラマツ原料材	込	込					
針葉樹原料材	込	込					
広葉樹原料材	込	込					

※ 各価格検討表を基に、買取提案価格を提出してください。なお、共同(販売協定)で申請した物件については、申請者全員の価格をとりまとめて一つの買受希望単価を記載してしてください。

※ 販売する材の径級については、公告で示した径級の範囲となりますが、該当する樹種等が無い場合は、適宜変更して報告をお願いします。